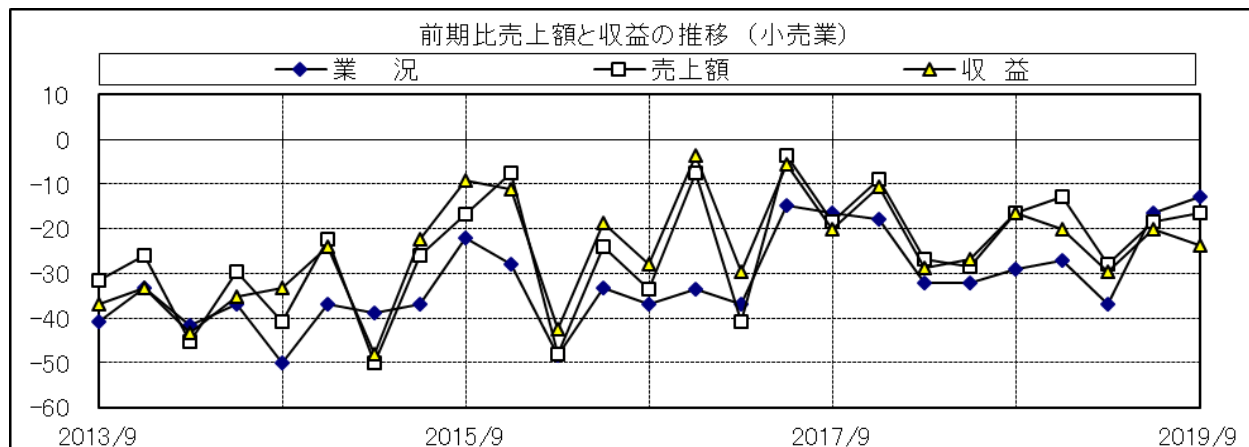


小 売 業 54 企 業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 実 績
業 況	-36.9	-16.4	-12.7	-21.8
売上額	-27.8	-18.3	-16.5	-18.2
収 益	-29.7	-20.1	-23.7	-16.3

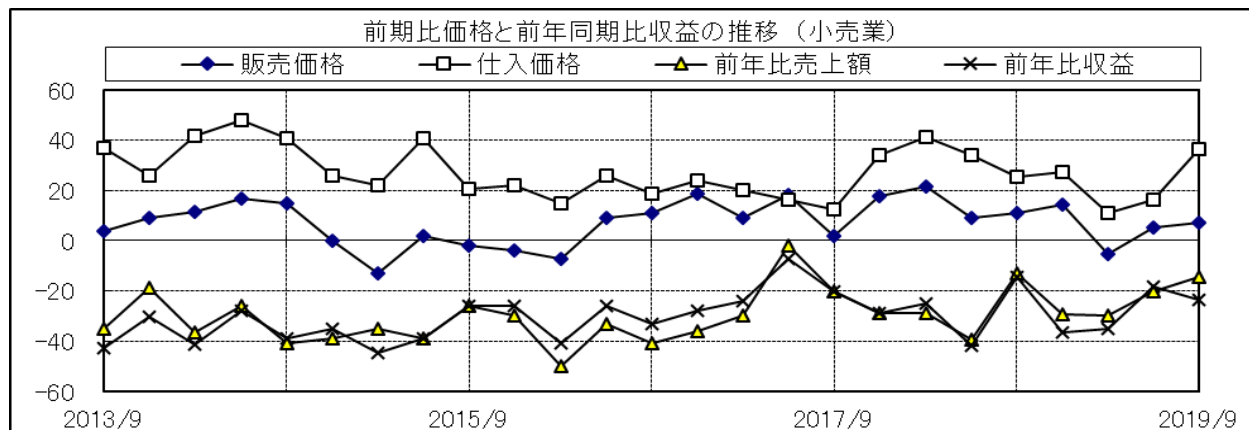
今期の業況判断 D. I. は△12.7 で、前期比 3.7 ポイント上昇。前年(△29.1)比 16.4 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、えりもが最も高く、様似、静内、広尾、浦河と続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△16.5 で、前期比 1.8 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△23.7 で、前期比 3.6 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 見 通 し
販売価格	-5.5	5.4	7.2	10.9
仕入価格	11.1	16.4	36.4	34.6

販売価格判断 D. I. は 7.2 で前期比 1.8 ポイント上昇、前年(10.9)比 3.7 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 36.4 で前期比 20.0 ポイント上昇、前年(25.4)比 11.0 ポイント上昇した。業種別の価格は、衣料・家電品は販売、仕入価格ともに横ばい。食料品は販売、仕入価格ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 見 通 し
残業時間	-1.9	-5.4	-12.8	-3.6
人手状況	-26.0	-21.8	-20.0	-21.8

残業時間判断 D. I. は△12.8 で、前期比 7.4 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△20.0 で、前期比 1.8 ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

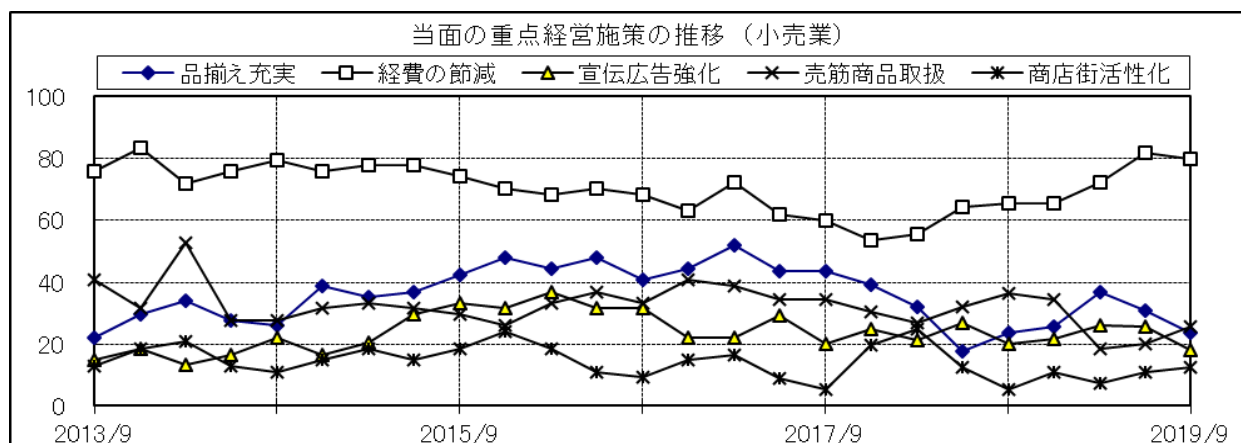
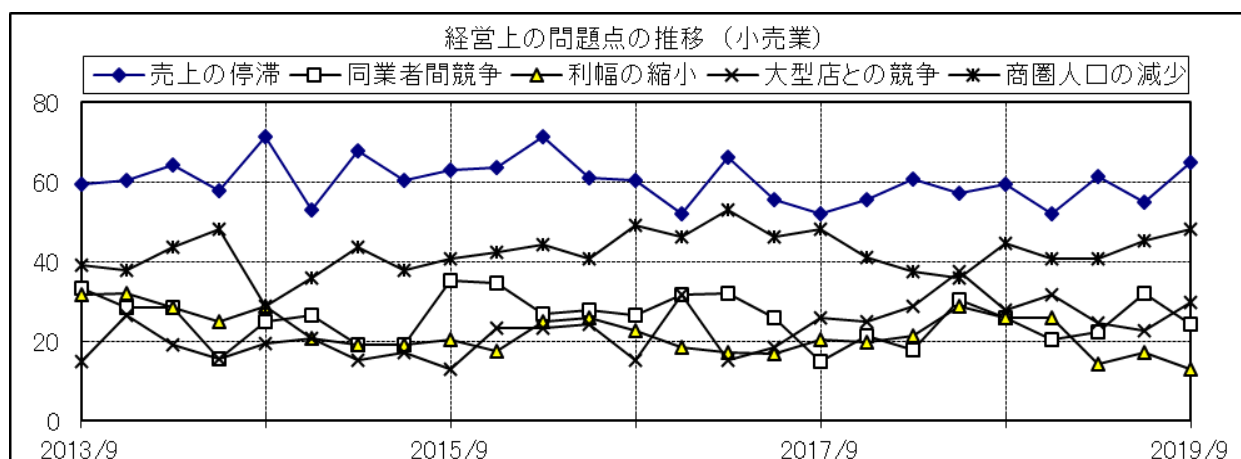
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示す D. I. は△9.1 で、前期(△10.9)比 1.8 ポイント上昇した。

設備実施企業割合は 5.5 で、前期(1.8)比 3.7 ポイント上昇した。設備投資は、前期 1 社に対し 3 社の実施となった。来期の設備投資の予定は 2 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が 64.8%と最も多く、「商圈人口減少」48.1%、「大型店競合」29.6%、「同業者競合」24.1%、「値上要請」16.7%、「利幅縮小」13.0%、「取引先減少」・「商店街集客力低下」9.3%、「人手不足」・「地場産業衰退」7.4%、「諸経費増加」・「天候不順」5.6%となっている。重点経営施策では、「経費節減」が 80.0%と最も多く、「売れ筋商品取扱」25.5%、「品揃え改善」23.6%、「宣伝広告強化」18.2%、「仕入先開拓選別」16.4%、「商店街活性化」12.7%、「新事業開始」・「人材確保」9.1%、となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△21.8 と、今期比 9.1 ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△18.2 と、今期比 1.7 ポイントの下降を見通している。

予想収益判断 D. I. は△16.3 と、今期比 7.4 ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は 10.9 と、今期比 3.7 ポイントの上昇を見通している。

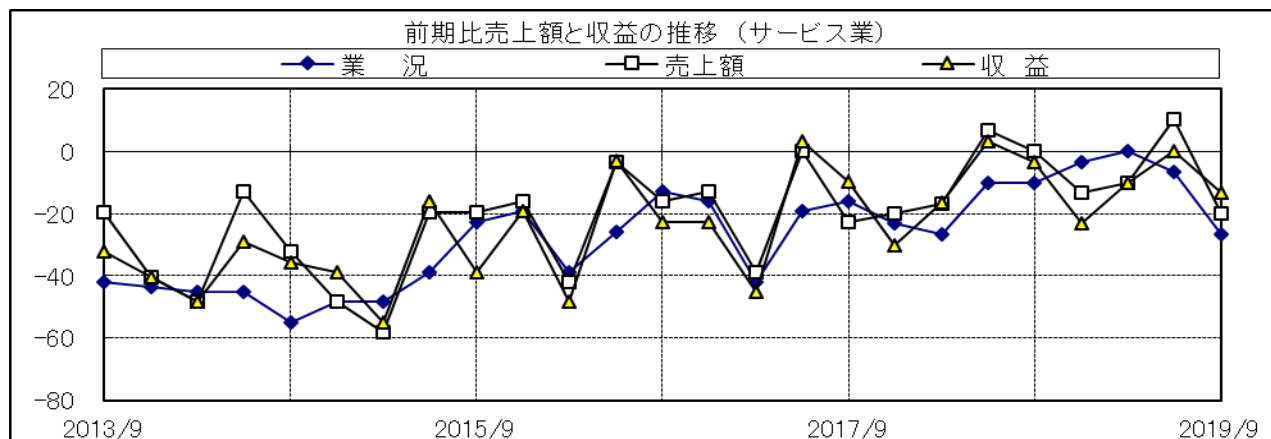
予想仕入価格判断 D. I. は 34.6 と、今期比 1.8 ポイントの下降を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	0.0	-6.7	-26.7	-30.0
売上額	-10.1	10.1	-20.0	-10.0
収 益	-10.1	0.1	-13.3	-10.0

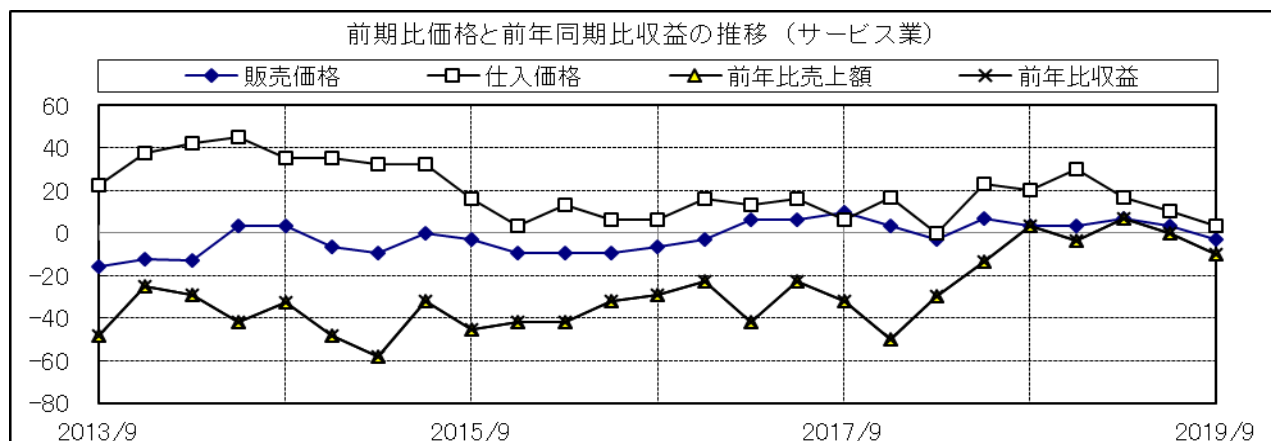
今期の業況判断 D. I. は△26.7 で、前期比 20.0 ポイント下降、前年(△10.0)比 16.7 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、静内・広尾が同率で最も高く、次に浦河、そして三石・えりもが同率で続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△20.0 で、前期比 30.1 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△13.3 で、前期比 13.4 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
料金価格	6.7	3.4	-3.3	9.9
材料価格	16.7	10.0	3.3	30.0

料金価格判断 D. I. は△3.3 で、前期比 6.7 ポイント下降、前年(3.3)比 6.6 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 3.3 で、前期比 6.7 ポイント下降、前年(20.0)比 16.7 ポイント下降した。業種別では、旅館業は料金・仕入ともに横這い。洗濯理美容業は、料金は横這い、材料は上昇。自動車整備業は、料金は横ばい、材料は下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	3.3	6.7	-10.1	-3.3
人手状況	-13.3	-20.0	-30.1	-30.0

残業時間判断 D. I. は△10.1 で、前期比 16.8 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△30.1 で、前期比 10.1 ポイント下降し、人手不足感がいっそう強まった。

□ 設備投資の動き

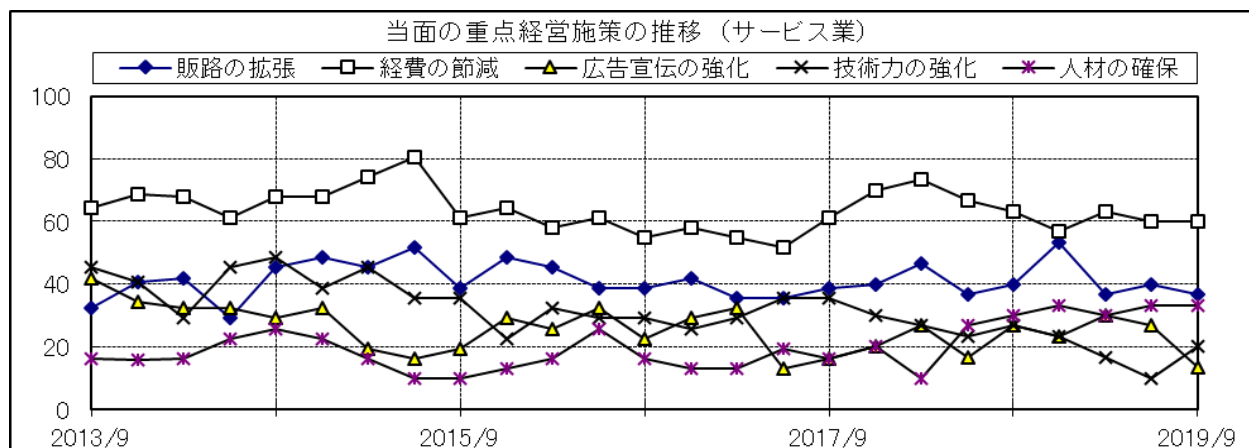
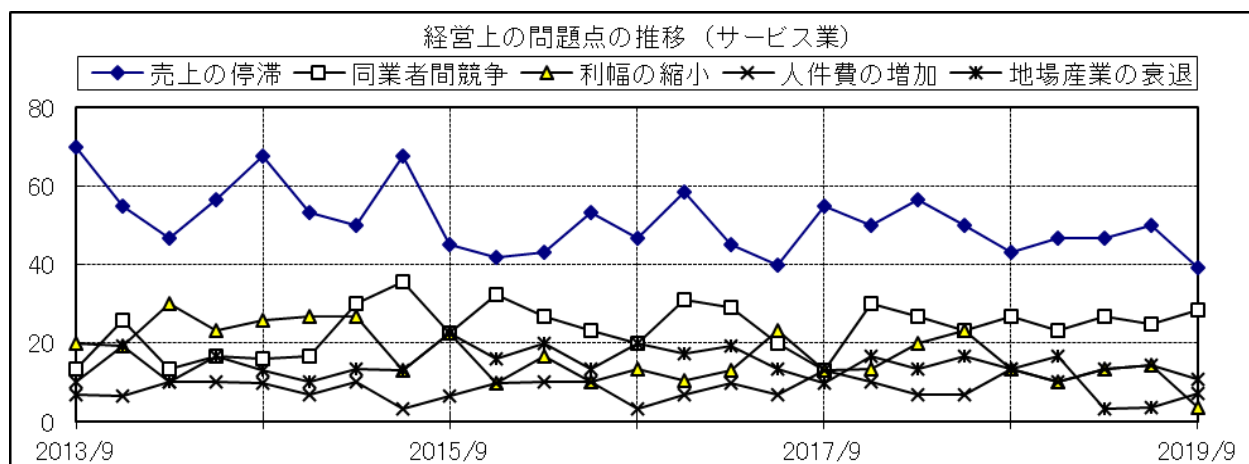
設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 3.4$ で、前期($\Delta 3.4$)と同水準となった。

設備投資実施企業割合は20.0で、前期(10.0)比10.0ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、6社の実施となった。来期の設備投資は5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圏人口減少」46.4%と最も多く、「売上停滞減少」が39.3%、「人手不足」35.7%、「同業者競争」28.6%、「材料価格上昇」21.4%、「取引先減少」14.3%、「人件費増加」10.7%、「料金値下げ要請」・「諸経費増加」・「店舗設備老朽化」・「地場産業衰退」が7.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が60.0%と最も多く、「販路拡大」36.7%、「人材確保」33.3%、「技術力強化」20.0%、「宣伝広告強化」13.3%、「連携先確保」6.7%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 30.0$ と、今期比3.3ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は $\Delta 10.0$ と、今期比10.0ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は $\Delta 10.0$ と、今期比3.3ポイントの上昇を見通している。

予想料金価格判断D.I.は9.9と、今期比13.2ポイントの上昇を見通している。

予想材料価格判断D.I.は30.0と、今期比26.7ポイントの上昇を見通している。